

# 自民党「食料安保検討委」 みたけ品 米粉製造を視察



山本裕樹委員長(中央)、江藤拓調査会長(右から5人目)ら視察団。到着後、森山裕食料安全保障に関する検討委員会委員長は「食料安全保障確保は、日本農業の発展が不可欠だ。だが日本人の消費は加速度的に減退しており、これを力バにする米粉に関するレクチャーを受け、増産や利用拡大に関する意見交換

続いて、江藤拓総合農林政策調査会会長は「日本農業の最大の課題は、出口対策だ。そこで注目される米粉に、みたけ食品工業は先進的に取り組む貢献してくれている。今回

初は苦勞の連続だったが、5年前に輸出を開始するとともに国内でも認知が広がってきた。さらにコロナ禍の果ごもり需要で、需要は一段階ステップアップし、リピートにつな

## チーズ研究者「夢商品」 サッポロ新ビールでコラボ

好きなクリームチーズに合うビールで食卓を楽しくしたい。森永乳業のチーズ研究



10日のオンライン説明会では川上真理さん(左)と成瀬史子さんがごたわりを説明した



川上夫妻のイラストと2社のロゴが描かれたパッケージ

リチーとルービー」のパッケージには両社のロゴも入るなど会社も全面的にバックアップ。シリーズ16品目で初となる、酒食の枠を超えた業界内コラボが実現した。

「魅力的な人生を送る人々の物語」とサッポロの醸造技術と掛け合わせる独自の「ストーリーフリーイング」製法でビールを2ヵ月

## HACCP課題共有

微生物検査環境検査の解説も



五十君静信理事長

食の安全を確保するための微生物検査協会の10日、東京都中央区日本橋公会堂で定例講演会を開催し、厚生労働省医業・生活衛生局食品監視安全課HACCP推進室の福島和子氏によるHACCP

品衛生監視員への支援(研修の実施、監視指導の効率化など)、厚生科学研究の成果の活用などを挙げた。

【関西】日本昆布協会は13日、大阪市内のインターコンチネンタルホテル大阪で、設立50周年記念総会を開催した。



大西智明会長

## 日本昆布協会 食文

3分の1... している... れん、生... が一体と... 向け協力... ればなら... 輸入量は... 1500... だったが... 需要が強... 出してま... 輸出を再... 話を開い... 今年の中... が、3月... 年比13%... 00tま... だったが... 国内の仕...



## アピ 雑穀・ひよこ豆など提案

アピは大豆にはない含有量も多いという報告もある。PBFは、イソフラボン含有する

ルと、杏仁豆腐などのデザートとして、大豆由来のプロテインのほかに雑穀由来のヒタミンやミネラルを補給できる「雑穀プロテイン」、油脂中には

3年度事業収支決算事業計画予算案を承認した。...

## PBFブームで脚光

プラントベースフード(PBF)市場が成長する中、動物性原料の代替となり得る多種多様な素材・添加物の提案が活発に行われている。代表的な植物性原料の一つに大豆があるが、アピではオーツ麦「EXOAT」や、ひよこ豆の加水分解

3年度事業収支決算事業計画予算案を承認した。...